

2012年8月から2015年8月までの作業内容



12年秋、名古屋のナガセ自動車さんでリフレッシュ作業開始。まずスタータやエバボの交換等の修理を実施した後、13年の春にはショックをビルシュタインに交換して車検も取得。13年夏には葛飾区のダストクリーンサポートさんに5ファクトリーまで室内清掃の出張作業をお願い。見違えるほどキレイになりました。13年の秋、ボロいシートを隠すためDottyのシートカバーを装着。スーパーオートバックス三鷹店の作業ペイをお借りして自分たちで作業しました。同じ13年秋、埼玉のシミズテクニカルファクトリーでクラッチのマスター&レリーズシリンダーを交換。これ

でかなりつなぎ易くなりました。当初、幌はDIYで張り替える予定だったものの、某国でハードトップを製作していることを知り作戦変更。13年冬に福島の日栄自動車さんで装着していただきました。14年春、オルタネータの焼き付き修理とクラッチOHのために三鷹のネクストカーズさんに入庫。部品代だけで数10万円を掛けて消耗品等を一気に交換することで、まるで別物のバリツとしたクルマに生まれ変わりました。そして14年秋、簡易ソフトトップを製作するために、佐倉のノーチラススポーツカーズさんに入庫することになりました。

リフレッシュ作業の開始前にスタータやエアコンが死ぬといった想定外のことをやらなくてはくたもの、名古屋のナガセ自動車さんでの基本的な部分のリフレッシュを経て車検も取得。13年の夏頃にはほぼ第一段階が終了し、その後は乗って楽しみながら少しずつ手を入れてあ

本当に時の経つのは早いもので、この企画がスタートしてからすでに3年の歳月が経過してしまいました。ご存じの通り、当初は「お手頃な911を買ってきても、あまりお金を掛けず、出来るところは自分たちで作業してリフレッシュする」というエピソードらしい趣旨でスタートしたはずでした。あの頃はまだまだ現在の兆候はなく、964もそんなお遊び企画の素材としては最適の1台に思えました。カブリオレを選んだのも、それが一番値段が安かったから、という理由にすぎませんでした。

ここからスタート(2012年8月)



3年前にスピードジャンの小澤社長が見つけてきた964カブリオレは、マニュアルでカブリオレ。かなりクダビレた物件。でもカスタムする素材としては値段も手頃でいいチョイス。そこから964リフレッシュ計画はスタートした。

964 ポルシェ カレラ2 カブリオレ 再生計画

スピードスター フエアリディング (仮称) 装着時簡易ソフトトップ制作

着々と新車の状態に戻りつつあるボロボロだった964カブリオレ。せっかくなので超カスタムのスピードスターフエアリディングを装着し、ついでに雨が降っても大丈夫な簡易ソフトトップも制作することに。今回はその第二弾。と同時に、今までの作業を振り返ってみる。

文●半谷 範一 取材協力●スピードジャパン (tel:0586-67-3357 <http://www.speedjapan.co.jp>)

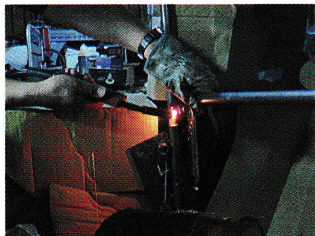
制作SHOP

NAUTILUS SPORTS CARS

〒285-0041
千葉県佐倉市大佐倉1352-1
www.r380.jp
tel:043-486-9559
fax:043-485-5507



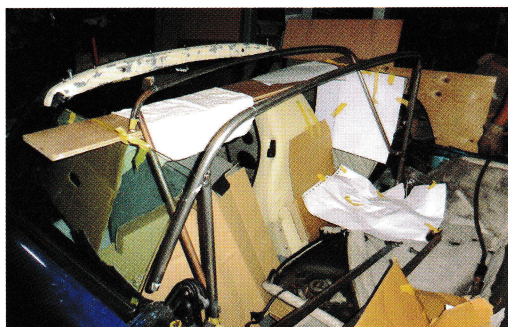
現在の状況は?



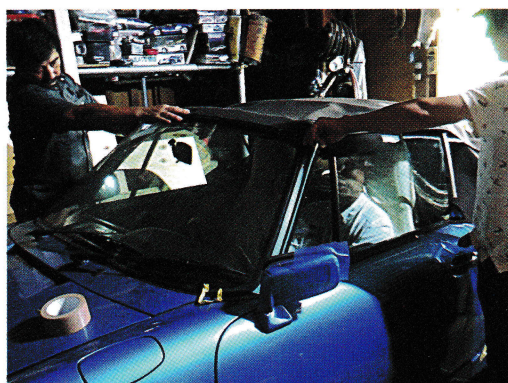
いよいよ取り付け作業です。まずはメインのフレームに溶接したヒンジに、補助フレームのパイプの下側を溶接します。次に上側を補助フレームのアップパー側に溶接します。



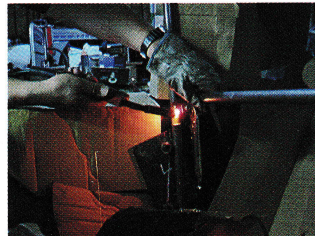
そして、不要な部分をカット。



仮付けしてみたら、このような感じになりました。溶接部分は位置決め用の点付けのままであるにもかかわらず、かなり剛性感があってちょっとビックリ。



試しに小澤社長が運転席に座った状態でリプレイメント用のソフトトップ生地を被せてみたところ、ヘッドルームは十分確保されていることが確認できました。ドアウィンドウとの隙間や後方視界を考えると、やはりソフトトップはリプレイメント用の改造ではなく、国内で新しく作ってしまった方が良さそうです。さて、これで基本的な部分はほぼ決まりましたね。次は細かい部分を煮詰めるのと、フレームを後部座席の場所に収納できるような分解式にするための作業になると思います。



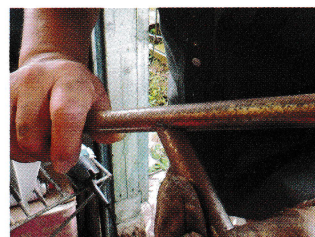
あらかじめ作っておいたヒンジをメインのフレームに溶接します。古川先生は、左右が同じ位置に装着できるように、わざわざ伸縮式の治具を制作していました。



次にそのヒンジと補助フレームのアップパー側をつなぐ支柱用のパイプを用意します。



これは何をやっているのかというと……



……フレーム同士の接合部分を綺麗に合わせるためのフィッシュマウス加工でした！残念ながらこのパイプの直径では細すぎて前回紹介した“パイプえぐり加工機”が使用できないので、手作業での加工となりました。



ちょっとご無沙汰してしまいましたが、ノーチラススポーツカーズさんで製作している964用簡易ソフトトップの作業、確実に進んでいます。というわけで、先日、スピードジャンプの小澤社長、本誌の古屋編集長と三人で取材にお邪魔することになりました。



前回のテストで、やはりメインのフレーム1本だけではソフトトップを支えきれないことが分かったので、今回は補助用のフレームを追加することになりました。ヘッドルームの確保だけではなく、視界を妨げず、乗降性に悪影響を与えない位置はどこか検討した結果、このような位置に追加するのが良さそうだという結論に達しました。



というわけで、早速作業開始。まず最初に補助フレームのアップパー側から作業の邪魔になる部分を切り取ってしまいます。



スチールの角パイプを治具にして、アップパー側を取り付ける位置を決めます。

その後、第二段階のエクステリア／インテリアのリフレッシュ仕込に入りましたが、せっかくだから他であまりやってないことを試してみようということになり、Dottyのシートカバーを装着したり、海外からハードトップを輸入して福島の日栄自動車さんで取り付けいただいたり、企画の素材として色々と楽しませていただきました。しかし、私達がそんなことをやって遊んでいる間に、世の中の空冷911の価格は信じられない勢いで高騰。気付いたときには964も当初の「気軽に遊べるベース車」とはかけ離れた存在になっていたのです。

そこでその次、14年の春にスタートした第三段階では、この企画も少し方向転換をすることになりました。オルタネータの修理とクラッチOHで三鷹のネクストカーズさんに入庫させたのを機に、少なからぬ費用を掛けてメカ関連を一気にリフレッシュすることにしたのです。エクステリアに関しても、ホイールやミラーを当時の純正の姿に戻してあげることにしました。

そして昨春秋、第四段階の作業として、佐倉市のノーチラススポーツカーズさんでスピードスターフェアリング装着時のための簡易ソフトトップ製作を開始しました。正直、当初の企画の趣旨とはかなり外れてきていますが、どうせ作るなら現在の964のバリエーションにふさわしい物とし、自己満足のためのワンオフではなく、将来的には商品化を視野に入れた開発を行なっています。

げようという状態になりました。その後、第二段階のエクステリア／インテリアのリフレッシュ仕込に入りましたが、せっかくだから他であまりやってないことを試してみようということになり、Dottyのシートカバーを装着したり、海外からハードトップを輸入して福島の日栄自動車さんで取り付けいただいたり、企画の素材として色々と楽しませていただきました。しかし、私達がそんなことをやって遊んでいる間に、世の中の空冷911の価格は信じられない勢いで高騰。気付いたときには964も当初の「気軽に遊べるベース車」とはかけ離れた存在になっていたのです。